

※いずれの部門も制限時間を超えた場合は減点となります。

●英語暗誦部門(Ⅰ・Ⅱ共通)

Pronunciation 発音	15
Stress, Intonation & rhythm 強勢・抑揚・リズム	15
Fluency & Volume 流暢さ・声の大きさ	15
Impression & Overall Delivery 印象・話し方全般	25
Memorization 暗誦度	30
Total : 合計	100

英語暗誦部門では、自分が選んだ英文を暗記し、規定時間内で明るく美しく正確に、表現力豊かで説得的な発表を目指します。

たとえ複数の人が同じ発表英文を選んだとしても、個々の解釈によって全く雰囲気が変わる場合があります。バレエやオーケストラでも同様ですが、誰かによって作られたものであったとしても、自分の解釈に合うようにアレンジし自分流にする事でその英文は自分のスピーチになり得るのです。

また、審査基準についてですが、まず暗記が完璧でなければなりません。そして基本的英語の発音能力に優れ、文章全体に対する思い入れが聞き手に伝わっているかどうかで評価します。

●英語弁論部門

Pronunciation & Volume 発音・声の大きさ	15
Stress, Intonation, rhythm & Fluency 強勢・抑揚・リズム・流暢さ	15
Impression & Overall Delivery 印象・話し方全般	20
Contents & Uniqueness 内容・独創性	20
Grammar & Usage 文法・語法	10
Construction 構成	10
Thematic Appreciation テーマ認識	10
Total 合計	100

英語弁論部門では、テーマに対する想いを英文で原稿作成し、自分のコトバで表現し、問題提起や価値観の共有を通して、聴衆との心の一体感を目指します。個々の等身大で「伝えたいこと」を明確にしなが、スピーチ作成に励んでいただきたいと思います。

当部門の審査基準については、

- ・発表に説得力があり、聞き手に共感と感動を与えるか
 - ・自分で考え、自分らしい言葉で表現されているか
 - ・問題を明確にし、理路整然と考察して主張が明らかにされているか
 - ・主題（テーマ）に対し、深く考察されているか、適切な段落構成か
 - ・英語能力に関しては、正しい英語で話されているか
 - ・発表態度としては、熱意が感じられるか、落ち着いているか
 - ・非言語的表現（視線・表情・ジェスチャー）が自然かつ効果的か
- などのポイントを総合的に評価します。

内容は抽象的な内容よりも、体験談等を含めた具体例があげてある方が、より聞き手に伝わり易いと思います。その際、文章の構成・文法は的確でなければなりません。

弁論部門では発音も大切ですが、内容充実度や説得力を重視します。

●日本語弁論部門

発音	10
文法・語法	10
語彙	10
内容・独創性	20
文章構成	20
表現力・説得性	20
テーマ認識	10
合計	100

日本語弁論部門では、大会の主題（テーマ）に対する想いを日本語で原稿作成し、それを発表していただきます。自分が伝えたい事をはっきりと分かりやすく伝えられる発表を目指します。

当部門の審査基準については、

- ・発表に説得力があり、聞き手に共感や感動を与えるか
 - ・自分で考え、自分らしい言葉で表現されているか
 - ・問題を明確にし、理路整然と考察して主張が明らかにされているか
 - ・主題（テーマ）に対し、深く考察されているか、適切な段落構成か
 - ・日本語能力に関しては、正しい日本語で話されているか
 - ・発表態度としては、熱意が感じられるか、落ち着いているか
 - ・非言語的表現（視線・表情・身振り手振り）が自然かつ効果的か
- などのポイントを総合的に評価します。

内容は抽象的な内容よりも、体験談を含めた具体例があげてある方が、より聞き手に伝わりやすいと思います。その際、言葉の使い方が適切であり、文章構成が適切でなければなりません。

発表は、発音も大切ですが、伝えたい内容をよりよく伝わる工夫がされた表現力を意識してください。